

## HOPE レポート V 「エルダー層のお金に対する意識調査」

「金時(きんとき)持ち」である 50 歳以上のエルダーたち。その生活の中味が初めて見えてきました。生きがいを感じ、もっとお金をかけていきたいものとして挙げられたのは、「国内旅行」、「健康作り」、「芸術鑑賞」、「配偶者との交流」。今後消費が大きく伸びるテーマと判明。これからは、「夫婦消費」がエルダーのキーワードになることがわかりました。

HOPE レポート: 高齢化が急速に進展するなか、50 歳以上のエルダー世代は、いま変化しつつあり、注目されています。このエルダー世代に関する生活意識や現状を探って行くレポートです。

今回は、お金も時間もある「金時(きんとき)持ち」であるエルダー層に対し、「お金に対する意識調査」を実施しました。エルダーの「お金と生活」に関する発見、さらに、「お金意識クラスター」を抽出し、11 パターンに分析した結果もご紹介しています。これまでの「枯れて行く」老後観とは違った、元気で意欲的な「ニューエルダー(高活性化層)」の姿がはっきりと見えてきました。

### ■ 「金時持ち」ピークは、65 歳から 74 歳までのエルダー本格前期。

- ・「自由に使える時間」は加齢とともに増えていくが、「自由に動かせるお金」は 75 歳以降大きく減少し、お金と時間のバランスが崩れていく。特に、女性の落ち込みが激しい。

### ■ 今後消費が伸びそうなものは、「国内旅行」「健康作り」「芸術鑑賞」「配偶者との交流」。

- ・「国内旅行」「健康作り」は現在もお金をかけていて、まだまだ伸びる可能性が高い。交際・交流は、生きがいとしては「友人」「孫」「子供」だが、今後の消費拡大の相手は「配偶者」。趣味の中では「芸術鑑賞」が生きがいがあり、伸びが期待できる。

### ■ エルダー世代に必要な二大資本は、「経済的ゆとり」と「健康な体」。

- ・今後お金をかけたいこと(消費)の実現に必要なものとしては、当然ながら「経済的ゆとり」が 1 位。2 位に「健康な体」がきており、「健康あってこそ」のエルダー世代の意識が垣間見えます。
- ・夢の実現に必要なものとしては、やはり「健康な体」が 1 位に挙げられており、その次に「経済的ゆとり」があげられました。歳をとればとるほど「健康な体」の必要度が増し、逆に「経済的ゆとり」は加齢で減少。

### ■ 妻は自分のために、夫は二人のために。夫婦間で「お金意識」に溝。

- ・「自分一人の今と将来」に使う女性、「自分と配偶者二人の将来」に使う男性が多い。「社会のためにお金を使う」、「子供や孫のためにとっておく」人は少数派。

■ 子供に期待せず、自立するエルダー。「子孫に美田は残さず」の傾向。

- ・ 50 歳から 74 歳までの夫婦は、「子供・孫」とお金で自立していて、「遺産を残す」意識は 75 歳以上の人がやや高い。子供からの経済援助を期待しない人が 9 割以上もいて、「子供・孫」とはお金でつながらない関係を望んでいる。

■ お金と生活面から見ると、ニューエルダー※は「健康投資志向族」「キリギリス族」が多い。

※ = 高活性化層

- ・ お金意識だけでなく、生活実態・意識・金融機関／商品との付き合いを総合的に分析し、その特性から 11 のクラスターにエルダー世代を分類することができた。
- ・ 一番多いのは、やりたいことはあるが、お金のゆとりがない「不安に備えるアリ家族」で 18.4%。次に、自分では運用しない「妻にお任せ無関心族」が 17.1%と続く。
- ・ 元気で意欲的な「ニューエルダー」は、主に健康作りにお金を使っている「健康投資志向族」、やりたいことにお金を十分使っている「今を楽しむキリギリス族」に数多く見られ、社会のためにお金を使いたいと考えている「まだまだ現役・社会貢献族」にも数は少ないながら、見られる。

● HOPE サーベイの概要

調査時期 : 2001 年 7 月 27 日～8 月 7 日

調査対象 : 全国 50～80 代男女 875 サンプル

(平成 7 年度国勢調査人口構成比に準拠してサンプル配分)

調査実施期間 : (株) インテージ(旧 社会調査研究所)

● エルダーの規定(博報堂エルダービジネス推進室による)

50 歳以上の高齢者を「エルダー」と規定

導入期 : 50～64 歳

本格期(高齢者) : 65 歳以上

前期高齢者 : 65～74 歳

後期高齢者 : 75 歳以上

この件に関するお問い合わせ先

博報堂エルダービジネス推進室

阪本・井徳・本田・井上・田中 TEL 5446-4355/FAX 5446-4399

博報堂金融ビッグバンプロジェクト

石井・志垣・内海・宮腰 TEL5446-8622/FAX5446-8652

ホームページURL :: <http://www.h-hope.com>

■これまで発行した HOPE レポートと今後の発行予定

1. [HOPEレポート I](#)

ニューエルダーの登場(5月・既報)

・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」

2. [HOPEレポート II](#)

情報縁:つながる場(7月・既報)

・ユニバーサルデザイン

3. [HOPEレポート III](#)

情報縁:つながる関係(8月・既報)

・エルダーの人間関係

4. HOPE レポート IV

情報縁:3世代コミュニケーション(9月・既報)

・エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション実態

5. HOPE レポート V

「エルダー層のお金に対する意識調査」(今回)

(次回より)

6. HOPE レポート V

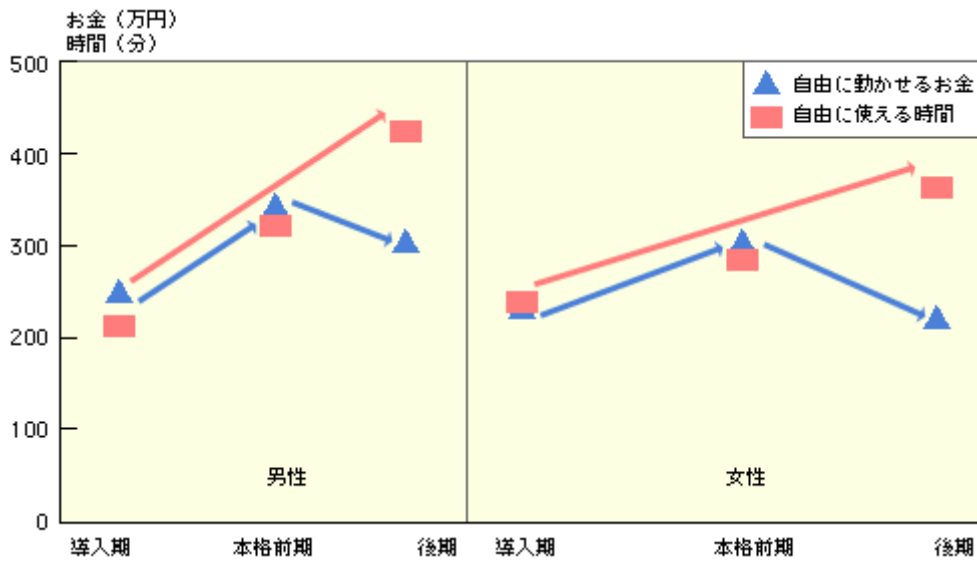
情報縁/つながるメディア(12月予定)

7. HOPE レポート VII

情報縁/ニューエルダー:つながる関心(1月予定)

■「金時持ち」ピークは、65歳から74歳までのエルダー本格前期。

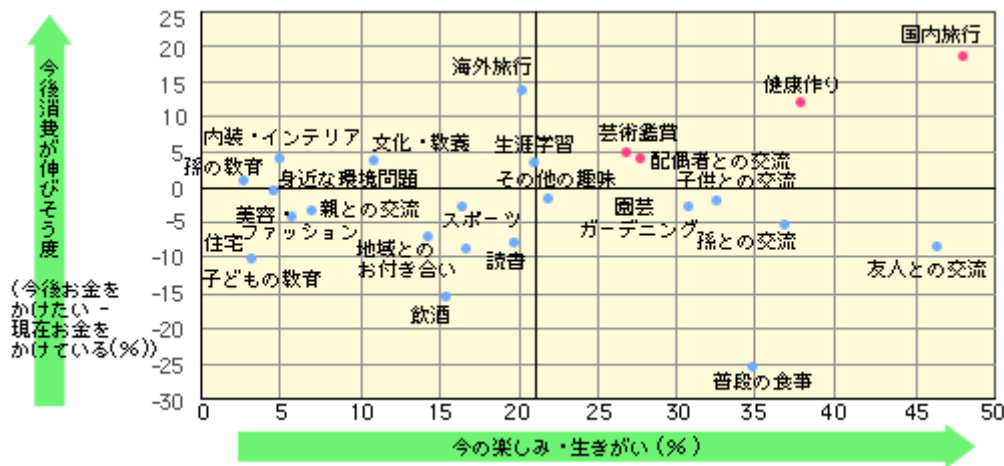
- ・「自由に使える時間」は加齢とともに増えていくが、「自由に動かせるお金」は75歳以降大きく減少しお金と時間のバランスが崩れていく。特に、女性の落ち込みが激しい。



■今後消費が伸びそうなものは、

「国内旅行」「健康作り」「芸術鑑賞」「配偶者との交流」。

- ・「国内旅行」「健康作り」は現在もお金をかけていて、まだまだ伸びる可能性が高い。
- ・交際・交流は、生きがいとしては「友人」「孫」「子供」だが、今後の消費拡大の相手は「配偶者」。
- ・趣味の中では「芸術鑑賞」が生きがいがあり、伸びが期待できる。

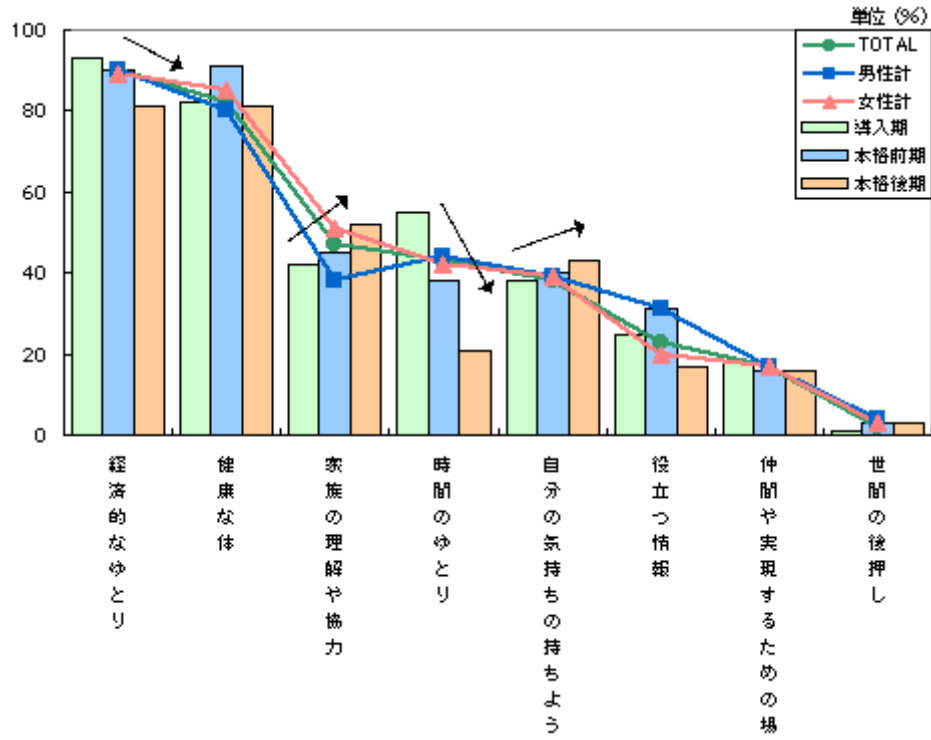


■必要な二大資本は、「経済的ゆとり」と「健康な体」。

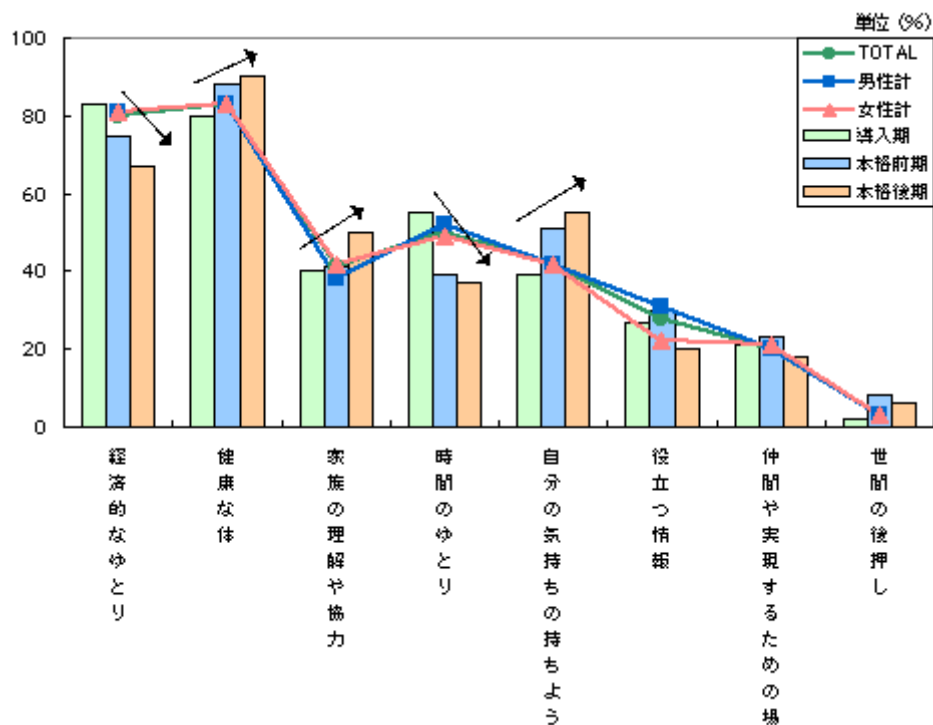
- ・今後お金をかけたいこと(消費)の実現に必要なものは、当然ながら「経済的ゆとり」が1位。
- 2位に「健康な体」がきており、「健康あってこそ」のエルダー世代の意識が垣間見えます。
- ・夢の実現に必要なものとしては、やはり「健康な体」が1位に挙げられており、その次に「経済

的ゆとり」があげられました。歳をとればとるほど、「健康な体」の必要度が増し、逆に「経済的ゆとり」は加齢で減少していきます。

●今後お金をかけたいこと(消費)の実現に必要なもの



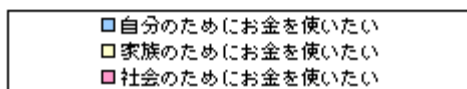
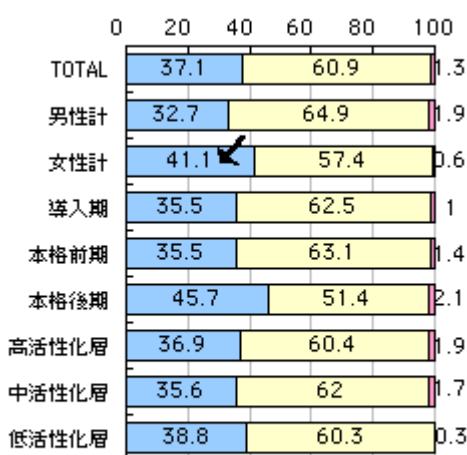
●これから実現したい夢の実現に必要なもの



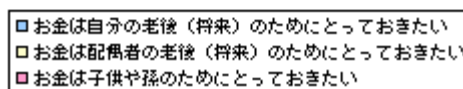
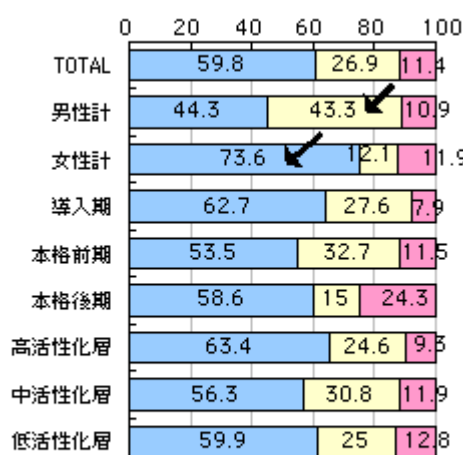
■妻は自分のために、夫は二人のために。夫婦間で「お金意識」に溝。

- ・「自分一人の今と将来」に使う女性、「自分と配偶者二人の将来」に使う男性が多い。
- 「子供や孫のためにとっておく」人は少数派。

●誰のためにお金を使いたいか 単位 (%)

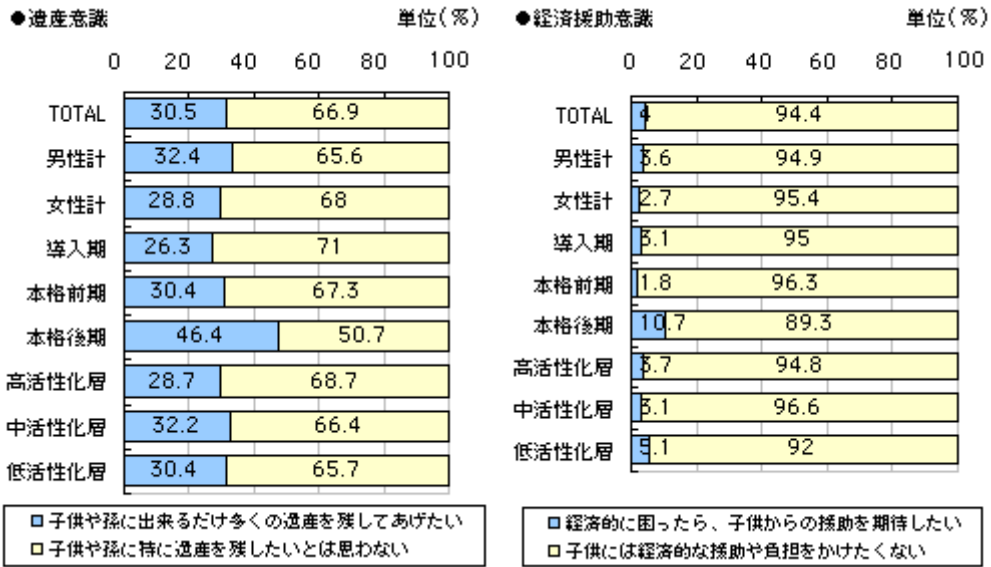


●誰のためにお金をとっておきたいか 単位 (%)



## ■子供に期待せず、自立するエルダー。「子孫に美田は残さず」の傾向。

- ・50歳から74歳までの夫婦は、「子供・孫」とお金で自立していて、「遺産を残す」意識は75歳以上の人だけがやや高い。子供からの経済援助を期待しない人が9割以上もいて、「子供・孫」とはお金でつながらない関係を望んでいる。



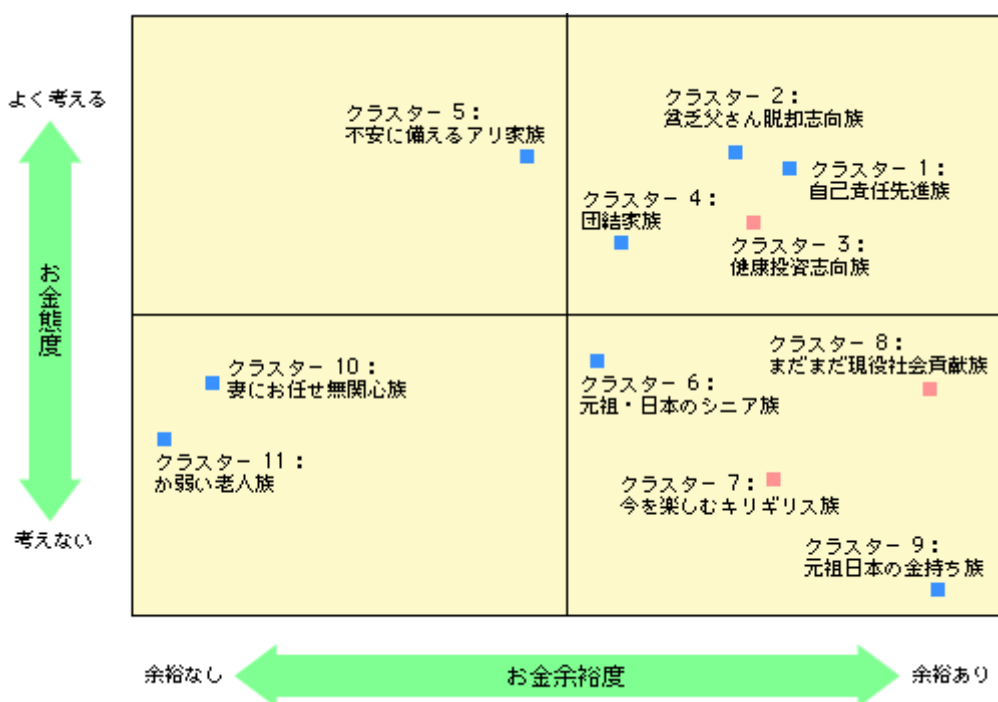
## ■お金意識クラスター分析

- ・お金意識だけでなく、生活実態・意識・金融機関／商品との付き合いを総合的に分析し、その特性から11のクラスターにエルダー世代を分類することができた。
- ・一番多いのは、やりたいことはあるが、お金にゆとりがない「不安に備えるアリ家族」で18.4%。次に、自分では運用しない「妻にお任せ無関心族」が17.1%と続く。
- ・元気で意欲的な「ニューエルダー」は、主に健康作りにお金を使っている「健康投資志向族」、やりたいことにお金を十分使っている「今を楽しむキリギリス族」に数多く見られ、社会のためにお金を使いたいと考えている「まだまだ現役・社会貢献族」にも数は少ないながら、見られる。

クラスター1	自己責任先進族	4.8%	
クラスター2	貧乏父さん脱却志向族	9.0%	
クラスター3	健康投資志向族	6.3%	■
クラスター4	団結家族	9.8%	
クラスター5	不安に備えるアリ家族	18.4%	
クラスター6	元祖・日本のシニア族	6.2%	

クラスター7	今を楽しむキリギリス族	15.5%	■
クラスター8	まだまだ現役社会貢献族	1.3%	■
クラスター9	元祖日本の金持ち族	4.4%	
クラスター10	妻にお任せ無関心族	17.1%	
クラスター11	か弱い老人族	7.2%	

■はニューエルダーに多く見られるクラスター。



### <代表例>

クラスター3:健康投資志向族

#### ◆金時持ち度

自由に使えるお金 374 万円

自由に使える時間 244 分

#### ◆消費

##### 現在かかるお金:

健康作り・趣味・旅行やや高め

##### 今後かけたい:

健康作り

##### 生きがいがい:

健康作り・普通の料理・子供・孫・友人との交流





◆お金意識

金融機関のアドバイスで運用	100%
資産運用に関心	81.6%
やりたいことはあるが お金のゆとりがない	65.3%
普段お金を考えない	61.2%

クラスター5: 不安に備えるアリ家族



◆金持ち度

自由に使えるお金 207 万円

自由に使える時間 237 分

◆消費

現在かかるお金:

病院・老後の生活設計・普段の食事

今後かけたい:

老後の生活設計・国内旅行

生きがい:

国内旅行・子供・友人との交際

健康・経済面ともにやや不安

◆お金意識

安全性	100%
やりたいことはあるが お金のゆとりがない	95.8%
自己判断で運用	83.9%

クラスター7: 今を楽しむキリギリス族

◆金持ち度

自由に使えるお金 337 万円

自由に使える時間 330 分

◆消費

現在かかるお金:

国内・海外旅行・友人との交際

今後かけたい:



旅行・孫との交流やや高め

**生きがい:**

普段の料理・外食

実現の可能性が高い今の充実最重視

◆お金意識

やりたいことに十分使っている	95%
普段お金を考えない	89.2%
自己判断で運用	83.3%
安全性	83.3%

## ご参考

### ■ニューエルダーとは

下記の活性化尺度により、5個以上にあてはまると答えた高活性化層を「ニューエルダー」と規定しました。心身ともに元気で意欲的なこの層はエルダー全体で30.6%にのぼりました。博報堂では「ニューエルダー」への効果的なアプローチが今後のエルダー層の消費活性化の鍵となると考えています。

### \* 活性化尺度・8項目 \*

#### 【身体】

- ・よく眠れる
- ・身体が健康である

#### 【心】

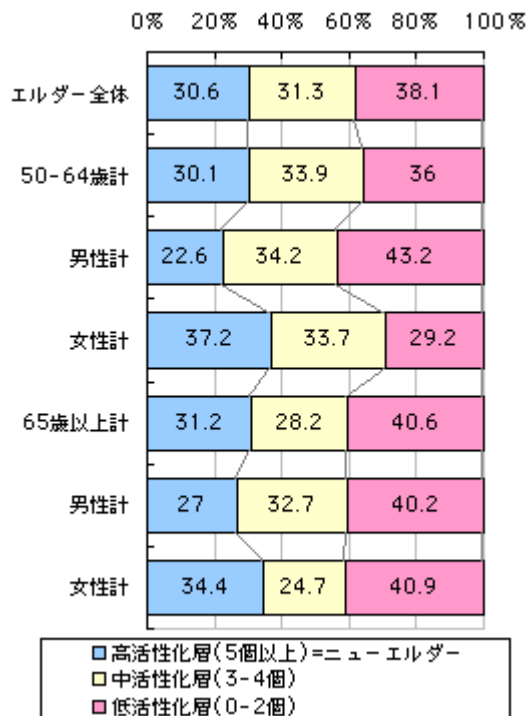
- ・喜びをもって毎日を送っている
- ・今を生きているという実感がある

#### 【情報】

- ・好きな趣味や勉強をしている
- ・社会や時代の動きに関心がある

#### 【縁】

- ・友達や話相手に不自由しない
- ・自分が必要とされ愛されていると感じる



### ■博報堂エルダービジネス推進室とは

昨年6月に設立。日本が急速に超高齢社会に向かうなか、情報コミュニケーション・マーケティング

に関する開発・支援などのエルダー対応を推進中。

エルダーズライフ／介護／ユニバーサルデザインの3領域が対象です。

## ご参考

### ■ニューエルダーに迫るキーワード、「情報縁」について

これまでの「枯れていく」老後観とは異なった、元気で意欲的な「ニューエルダー」。

より広い人々との「関係」を重視し、社会問題も含めた広い関心事を持ち、新しいメディアを積極的に活用しようとしている「ニューエルダー」へはどのようなアプローチが有効でしょうか？

そのために、考えておきたいキーワードがあります。それは「情報縁」。

すなわち、「マスメディアあるいは携帯電話・パソコンなど新しいメディアを活用し、「健康・環境・趣味」など「関心事についての情報をメディアから入手・交換」しつつ、「仲間づくり」をするという、彼らの新しい縁づくり＝「情報縁」づくりを応援するという考え方です。

さらに、その縁づくりの場は、エルダー世代にとって接しやすく使いやすい場であることが、大切です。例えば「商品説明ツールも広告表現もユニバーサルデザインでわかりやすく」といった気づかいをしていくことが、小さいけれど、重要になります。

縁づくりのメディアの1つとなる「IT」機器もユニバーサルデザイン対応が求められます。

彼らのコミュニケーションの場としての「インターネットサイト」の積極的活用とユニバーサルデザイン対応も視点の1つでしょう。

「情報縁」でニューエルダーの人たちをつなぎ、彼らの生活をより楽しく、活性化させるという視点に、企業からのアプローチのヒントがあると私たちは考えます。

